

ようじえんだより 2020年度12月号

十日町幼稚園 〒948-0083 十日町市本町西1丁目253番地
Tel:025-752-2068 Fax:025-752-2189

12月主題『喜びにあふれて』

主題聖句：学者たちはその星を見て喜びにあふれた。

マタイによる福音書2章10節

- ☆ 0歳児：クリスマス喜び、うれしい気持ちを感じ合う。寒い冬を健康に過ごす。絵本を読んでもらったり、クリスマスの歌や手遊びを楽しみながら繰り返す。
- ☆ 1～2歳児：イエス様のお誕生を楽しみに待ち、祝う。クリスマスの雰囲気を楽しみ、絵本やささんびかに親しむ。まわりの人と思いを共有する経験をする。
- ☆ 3歳児：クリスマスの意味を知り、友だちと心を通わせ礼拝し、イエスさまの誕生を祝う。喜んで賛美したり踊ったりして心を弾ませる。興味あることにじっくりと取り組み、うれしさを感じる。
- ☆ 4～5歳児：クリスマスの意味を知り、愛されていることの喜びをもって礼拝する。クリスマスの喜びを分かち合うために自分たちにできることを考える。寒さの中でも、身体を動かすことを仲間と一緒に楽しむ。

十日町幼稚園のハイライト“クリスマス”

十日町幼稚園に限らず、キリスト教系の幼稚園、保育園、認定こども園に通った子どもと保護者に在園児のエピソードを聞くと、その多くにクリスマスが出てきます。クリスマスのことを子どもたちも保護者の方もずっと覚えているのです。今年度は残念ながら例年のようなクリスマス祝会ではありませんが、それでも子どもたちにも保護者の方にも記憶に残るクリスマスになると信じます。

なぜクリスマスなのか

数ある行事の中でもなぜクリスマスの思い出がいつまでも残るのか考えた時、クリスマスのメッセージが幼稚園が大切にしているものをそのまま表しているからだと思うのです。子どもたちが演じるページェントはイエスキリスト生誕の物語ですが、様々な困難が次々とある中で、その都度不思議な助け手が与えられ、そこに救い

主(命)が誕生する物語です。小さな一人ひとりが少しの力と他者を信じる気持ちをつなぎ合わせてページェントを作り上げる時、それは子どもたち一人ひとりがここまで歩んできた成長の過程とどこかで繋がっているような気がするのです。

うまく出来ることではなく、意欲的に喜んで取り組んでいることが大切

幼児期の発表会はいかにうまく出来ることではなく、意欲的に喜んで取り組んでいるかが最も大切だと幼児教育界では言われるようになりました。ダメ出しされながらやっても、結果として自己肯定感が下がるようなやり方では成長しないのです。ちょっとしたドキドキを自分なりにクリアしたり、みんなで劇を作り上げる喜びを感じて、「もっとやりたい！」と思えたら、将来につながる大切な力がそこにはすでに育っているのです。

園長：久保田愛策

年間主題『こころが満たされる』

主題聖句：喜びと平和とであなたがたを満たす
新約聖書 ローマの信徒への手紙15章13節